

あさひざ  
「旭座人形芝居」(県指定無形民俗文化財)

1 日 時 平成28年11月3日(文化の日) 13時30分 開式

2 場 所 旭座人形芝居会館 八女市黒木町笠原5005-2

3 外 題 ことぶきしきさんばそう  
「寿式三番叟」(旭座人形芝居保存会)

けいせいあわなると じゅんれいうた  
「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段(黒木小学校児童)

つばさかかんのんれいげんき やま  
「壺坂観音霊験記」山の段(旭座人形芝居保存会)

4 観 覧 無 料

5 アクセス 九州自動車道 八女ICより約23km、車で約1時間  
※駐車場あり

6 連 絡 先 八女市役所 文化振興課文化振興係  
☎ 0943-24-8163 (係直通)

7 概 要 「旭座人形芝居」は、明治5年(1872)頃、黒木町笠原<sup>わにばち</sup>八集落に浄瑠璃の名人が現れ、祝いの席で瓢箪や徳利を人形に見立て浄瑠璃にあわせて操ったのが始まりとされます。

昭和30年、福岡県無形文化財(当時)の指定を受け、旭座人形芝居保存会が結成されました。平成11年、公開と練習専用として「旭座人形芝居会館」がこけら落としを迎え、笠原地区の5戸で継承されています。さらに、八女市立黒木小学校では「人形浄瑠璃クラブ」で伝統を継承し、本公演や笠原まつりで公演を行い迫真の演技は涙をさそいます。

